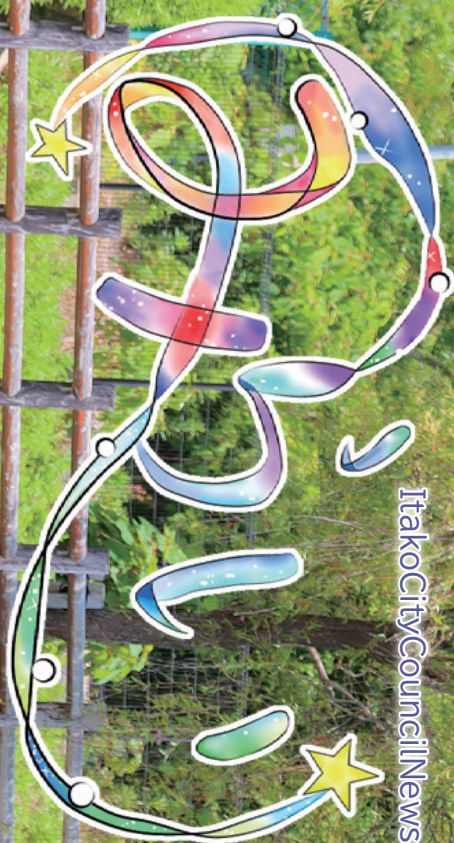




ItakoCityCouncilNews



あやめこども園(ろ舟乗船体験)

審議議案と議決結果

会 期：6月2日～19日（18日間）

審議議案：15件

（市長提出議案等：14件、追加議案：1件）

令和8年第2回6月定例会

条例制定及び改正 5件	
潮来市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
潮来市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
潮来市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
潮来市火入れに関する条例の一部改正について	原案可決
潮来市印鑑条例の一部改正について ※追加議案	原案可決
補正予算 1件	
令和8年度潮来市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
承認 2件	
専決処分事項の承認を求めることについて（潮来市税条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の承認を求めることについて（潮来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
報告 6件	
繰越明許費繰越計算書について（令和7年度一般会計）	報告
事故繰越し繰越計算書について（令和7年度一般会計）	報告
継続費繰越計算書について（令和7年度水道事業会計）	報告
繰越計算書について（令和7年度下水道事業会計）	報告
一般財団法人潮来市開発公社の経営状況について	報告
株式会社いたこの経営状況について	報告
その他 1件	
旧津知小学校用地の売買契約について	原案可決

議案ピックアップ

＼気になる議案をチェック／

潮来市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

保育所等に通っていない満3歳未満のこどもについて、こどもの育ちを応援するために、こどもが継続的に保育所等へ通園する制度である「こども誰でも通園制度」の運営基準を定めるものです。

この制度は「あやめこども園」にて実施されています。

こども誰でも
通園制度

▼賛否が分かれた案件

討論の様子▶



議案第30号「令和8年度潮来市一般会計補正予算（第1号）」では、鹿島アントラーズクラブハウスの潮来市移転に向けた具体的な検討を開始するにあたり、地域連携拠点整備基本構想に位置付けられたスポーツ・賑わいゾーン約14haを対象として整備実現可能性調査を実施するため、委託費2,542万7千円が計上されました。本件について、議会では賛成・反対それぞれの立場から活発な討論が行われました。

反対討論要旨

まず考えるべきは、広域連携による協力と発展である。現在、鹿嶋市が強く反発し、撤回を求めている状況下で、本市が独自にクラブハウス誘致の調査費を計上することは、不信感を招き、関係を逆なでする行為と受け取られかねる。隣接する鹿嶋市との信頼関係を良好に築くことは、今後の本市のゴミ処理施設問題をはじめ、いろいろな広域連携のもとで対応するために極めて重要である。良好な関係を再構築するためにも、これまで直接協議が行われていない両市長が話し合いの場を設け、前進を図ることを求めたい。アントラーズを取り合うのではなく、地域の宝として共有し、丁寧な協議を重ねるべきである。もし今回が“ボタンの掛け違い”であるならば、掛け直して、地域間協力のもとで潮来インター周辺への移設を望む。以上の理由から、現時点での調査費計上には反対である。

賛成討論要旨

本予算案は、移転の交渉を開始するための予算であり、本市の未来を切り開くための「攻めの投資」である。費用対効果や周辺のインフラへの影響、最適な立地条件を徹底的に調査・分析することこそが、議会と行政が果たすべき責任である。潮来市民も望んでいる方は多く、大きな経済効果が期待できる一方、一体どのぐらいの費用がかかるのか、今は議会として判断する材料がない状態である。詳細なスケジュールや費用を市民や議会に示すためにも、この調査は必要である。ここで反対することは、アントラーズに関する議論を頓挫させることになる。チャンスを前にして立ち止まるのではなく、未来への一步を踏み出すためにも、この調査は必要である。何の一步も踏み出さずに調査をしないというのは、潮来市の未来に対して十分な責任を果たしたとは言えない。また、市民に「クラブハウスは潮来には必要ない」と受け止められかねない。以上の理由から、本案に賛成する。

○＝賛成 ×＝反対 ※16番飯田議員は、議長のため採決には加わりません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
結果	黒須俊行	鴫田正信	吉川利一	和田直子	佐々木徹	志村一	石田裕二	阿部慶介	兼平直紀	小峰進	平田健三	箕輪昇	飯島康弘	田崎清	小沼英明	飯田幸弘
可決	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	



一般通告質問

一般通告質問とは、議員が市長などの執行機関に対して、事務事業の執行状況や将来に対する方針などに質問をしたり、報告や説明を求めることです。

飯島 康弘 議員 P.5

- 1 『市民協働の考えから捉えるあやめ園整備事業』について
- 2 『潮来市の観光政策』について

鴫田 正信 議員 P.6

- 1 潮来市を一年通して観光事業を活性化するには
- 2 潮来市市政施行25周年事業について
- 3 潮来市西町浅間下住宅地について

小沼 英明 議員 P.7

- 1 選挙について
- 2 アントラズクラブハウス誘致について
- 3 潮来大橋→郵便局裏→水門川岸通り→十番→日の出の堤防までの通りについて
- 4 公共交通について

兼平 直紀 議員 P.8

- 1 地域の命を守る消防団の活動について
- 2 節目検診導入で将来の巨額な医療・介護費を防げ！
- 3 アントラズクラブハウス移転！潮来市と鹿行の未来を切り開くチャンス！

和田 直子 議員 P.9

- 1 人口減少対策・移住定住政策の効果と評価について
- 2 学校統合に向けた「魅力ある教育環境」の構築と「共育社会」への転換について

志村 一 議員 P.10

- 1 持続可能なコミュニティバスにするために

黒須 俊行 議員 P.11

- 1 防犯カメラについて
- 2 有害鳥獣駆除支援策について

平田 健三 議員 P.12

- 1 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）について
- 2 家庭用廃食油の取り組みは！
- 3 「過疎地域出産祝金補助事業」の導入を！
- 4 「5歳児健診」の早期導入を！
- 5 「母子免疫ワクチン」定期接種化の現状は！

田崎 清 議員 P.13

- 1 旧津知小学校について
- 2 統合後の潮来一中における校内トラブルについて
- 3 鹿島アントラズクラブハウス移転について
- 4 市道1級10号線（立金～台上戸）について

石田 裕二 議員 P.14

- 1 潮来インター周辺開発について！
- 2 地方自治法第97条2項について
- 3 若者世帯定住促進助成について

阿部 慶介 議員 P.15

- 1 英語に特化して子ども達が英語を話せる街づくりを！
- 2 タクシーチケットを使用出来ない方に別の支援策を！
- 3 古着はごみではない。洋服のリサイクルボックスについて

吉川 利一 議員 P.16

- 1 75回水郷潮来あやめ祭りについて
- 2 J1鹿島アントラズクラブハウスの潮来への移転について
- 3 中学校の統合について

佐々木 徹 議員 P.17

- 1 千葉ロッテマリーンズファーム本拠地誘致のその後
- 2 潮来クリーンセンターの今後について
- 3 潮来保健所について
- 4 日の出の出入り口、ライスセンター前の道路拡幅について

数字の横に「➤」が付いていないものは、紙面の都合上掲載できませんでした。5ページから17ページにありますQRコード（議員氏名隣）を読み取ると、映像で視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



『市民協働の考えから捉えるあやめ園整備事業』について

事業に参加くださる方々が増加傾向にある。特に10代、40代の世代。行政との関わり、まちづくりへの参加を期待したい世代である。今後、必要不可欠となる「市民協働」のヒント、モデルになる。

問 本事業の目的は？

答 篠塚環境経済部長

あやめまつりへの「市民の機運醸成」、来訪される方への「おもてなし」として市民協働による除草作業等を実施している。



問 当日の参加者は把握されているか？

答 大川観光商工課長

受付表等により参加者の把握をしている。市内の各団体、地元の小中学生をはじめ、新たに市制施行を祝う山車曳きを行う若連、統合したことにより津知地区、牛堀地区の児童生徒、保護者、部活動地域展開による新たな中学生軟式野球チーム、市外からは法政大学水上スキー部のみなさん方に参加いただいた。

問 単なる整備事業ではなく、市民参加の広がりの可能性はある事業である。

市としてはこの自主的に

参加されている市民の存在をもっと大切にしなければならぬ。感謝の意を「見える化」すべきでは？

答 篠塚環境経済部長

これまでの広報誌等での周知に加え、さらなる市民協働の推進を図るため、より効果的な方法を再度検討していく。

『潮来市の観光政策』について

問 行政主導から民間主導へ！を訴えてきた、この地域の魅力を引き出すには民間の創意工夫が必要、行政はサポートであるべき。今回は「嫁入り舟」に焦点をあてる。今後を見据えブラッシュアップする時期である。見解を伺う。

答 篠塚環境経済部長

歴史と伝統を継承し、現在は株式会社いたこまちづくり観光事業部が運営している。民間事業者の自立運営が、嫁入り舟を含む観光事業の持続発展に繋がると考える。

問 行政が主体的に観光の現場に関与することは、民間の自主性を損なうのでは。

例えば現場から金曜日の「宵の嫁入り」の要望が上がっているが実現に時間を要している。なぜか？

答 篠塚環境経済部長

あやめまつり実行委員会において、関係団体にアンケート、メリット・デメリットなど協議検討を含め、合意形成に時間を要している。

問 現状を踏まえ、本市のあやめまつり、嫁入り舟などはどう見据えているのか？

答 原市長

行政から民間への移行の重要性は共通認識している。しかしながら嫁入り舟に関しては、現状の質をしっかりと維持していく上において、警備や環境整備をはじめ諸課題があるのが実情である。観光事業部が5年前から業務を引き継ぎ改革を進めてきた。あやめまつりや嫁入り舟、ろ舟運航などを含め通年型観光に注力してきた。また、若い人材との連携等も図りながら環境整備等を少しずつ進めてきている。あと数年の内には今よりも進歩した形で民間移行が進んでいくものと考えているので、ご理解を賜りたい。



**潮来市を一年通して
観光事業を活性化する
には**

問 今年藤を延長する予算をつけたが、場所と長さを伺う。

答 篠塚環境経済部長

藤棚の設置場所と延長については、潮来ホテル前、アヤマ園内で、西側の前川沿いに設置する予定となっている。延長の計画は375メートルを持って進めている。あと残り90メートルで、今年度は20メートルを延長として施工していく。

問 伝統あるさっぱ舟（ろ舟）を作る職人がいなくなった為、潮来市では、ろ舟に対する今後の対応について伺う。

答 篠塚環境経済部長

令和4年10月から12月にかけて、道の駅いたこにおいて、ろ舟通年化の取り組みに当たり、埼玉県にある工房へ4名の方を、ろ舟作りとろ舟修繕等の技術習得のため派遣している。その際に制作したさっぱ舟1隻については、現在、水郷潮来あやめ園内にあるろ舟乗り場にある。現在、2名の方が当時習得した技術を基に主にくろ舟の修繕等を行っている。ろ舟作りについては、ろ舟の木材を含め、舟釘や銅板、その他制作に必要な材料等が入手困難となっているために制作までには至っていない。現在については、ろ舟の制作については銚田市にある関根造船所をお願いして、素材はFRPのものを昨年制作し、今現在そちらを利用させていただいている状況である。

問 津軽河岸広場において潮来お祭りフェスタを開催して大盛況に盛り上がった、広場が狭い為石田川に蓋をして広

場を広くして、いろいろな観光行事に対応する案を伺う。

答 篠塚環境経済部長

イベントを行うという上では、どのようなイベントを行なうのか、またどのくらいの人数を集めるのか、駐車場、飲食スペースなどをどうするのかなどを踏まえイベント会場を設定し、開催するものと考えている。津軽河岸広場でなければ駄目というものではなく、当該場所を広げるというよりは、ほかの会場を使うという考え方もできると思う。最初の答弁のとおり、全て四方を道路で囲まれているため、安全面等を考えると不適ではないかということとで答弁させていただく。

問 お祭りに関する観光地はどこでも郷土資料館や山車会館などがある。茨城のお祭りに選ばれた市では立派な郷土資料館があり、ないのは潮来市ともう1市だけである。何度でも言うが潮来市の活性化の為に郷土資料館、山車会

館を作る事が出来るか伺う。

答 篠塚環境経済部長

郷土資料館については、現在図書館の方に郷土資料室があり、今の段階ではそちらを利用していただきたいと考えているところである。

潮来市西町浅間下住宅地について

問 潮来市西町浅間下住宅地は浅間下地区用水組合でありながら市街化区域である。住宅が建ち並んだところの排水路がゲリラ豪雨などで水位が上昇した場合の対応を伺う。

答 濱野建設部長

集中豪雨等により水位が上昇した際は、潮来市地域防災計画に沿って対応する。ゲリラ豪雨時の想定外の雨量については国・県と相談しながら浅間下地区を含め市全体の排水対策の強化に努める。



選挙について

問 神栖市長選挙において得票数が同数であった為、くじ引きで当選を決めた。当市において同数だった場合に同じようにくじが当市にあった選挙長が同じように引くのか伺う。

答 榊原総務部長

得票数が同数である場合は選挙会において選挙長がくじで定めるとなっている。本市で選挙会を設置した際は、毎回投票が同数の際に使用するくじ引きの準備はしているが、実際にくじを引く方、また具体的なくじ引きの方法についてはその都度選挙会で協議決定している。



アントラーズクラブハウス誘致について

問 潮来市の財政負担はどれくらいを見込むのか？

答 酒井企業立地戦略室長

今後の調査業務において整備費等を精査するとともにアントラーズと協議を重ねていく中で明らかになる。都度可能な限り情報開示に努めて参る。

問 財政規模が鹿嶋市より小さい本市は投資に失敗したときのダメージは大きいのではないのか？

答 酒井企業立地戦略室長

投資に失敗するようなことは考えていない。本市の財政的ダメージが生じる事のないよう身の丈に合った事業スキームの提案を行って参る。

再問 現在鹿嶋市の強い反発がある。潮来市は鹿嶋市と対立するのではなく役割分担をお願いしたいというような一歩下がった形で持っていけないのか？

答 酒井企業立地戦略室長

広域役割分担であったり渋滞対策やホームタウン5市のさらなる連携を基本とし、アントラーズの発展や成長につながる事を大前提に取り組んで参りたい。

再々問 日本一のサポーターであるアントラーズの応援団インファイトが分裂するような動きもある。今後スタジアムにおいてクラブハウス移設反対の運動をするとも聞いている。誘致運動の前に感情論もすっきりさせないと、前に進めないと思うが如何か？

答 榊原総務部長

潮来市・鹿嶋市・鹿島アントラーズFCの話合いが大事になる。今懸念されている部分を払拭して参りたい。

潮来大橋↓郵便局裏↓
水門川岸通り↓十番↓
日の出の堤防までの通りについて

問 令和7年3月に制限速度が60kmであり非常に危険と質問、警察と協議するとの事であったがその後について伺う。

答 榊原総務部長

令和7年8月28日付で行方警察署へ40キロの速度制限の要望書を提出、令和8年5月22日に茨城県交通規制課より規制がかけられる旨の連絡があったが、潮来ローイングセンター前に一部徐行区間があり路面標示が変更されてからの規制になる。

公共交通について

問 5月1日より行方市において行方市を出発、到着するすべての方（市民以外も）が利用できる市内のみ千円、市街の指定スポットまで二千円でチケットなど使わずに利用できるタクシーの実証実験が始まった。当市でもできないか？

答 榊原総務部長

手続きの簡素化やデジタルの活用を含め利便性の向上は大変重要。開始して間もない行方市の制度は今後利用や効果等の情報を確認し、他市の先進事例についても研究して参る。



地域の命を守る消防団の活動について

問 市民の安心に大きく貢献する消防団。直近3年間の出動実績と、実動データの広報による可視化の考えは？

答 榊原総務部長

火災49件、行方不明捜索14件など3年間で85件出動した。現場へいち早く駆けつける姿が市民に与える安心感は計り知れない。

答 大川総務課長

出動件数や現場の声を広報紙等で可視化し、担い手不足解消へ繋げたい。

問 日中の出動に不可欠な「市職員団員」の現状と、今後のサポート体制は？

答 榊原総務部長

現在26名が在籍し、勤務中

節目検診導入で将来の巨額な医療・介護費を防げ！

問 本市は重大な血管疾患による死亡が深刻。現行の健診だけではリスクを見落とし、将来の重症化と巨額の医療・介護費発生（財政圧迫）を招きかねない。対策が必要では？

答 村田市民福祉部長

発症前のリスク把握と重症化予防は重要。本市は国基準に独自項目を追加して健診を実施している。健診ではスクリーニングを行い、高度な検査が必要な場合は医療機関での個別検査を推奨している。

問 健診予算の「不用額」を整理し、45歳や60歳などの節目年齢に高度な検査をセットにした「節目検診」を公的補助で実施すれば、受診率向上と将来の財政負担軽減に繋がるのでは？

でも許可を得て出動している。
答 大川総務課長
今後は職員団員の減少や、車両の運転免許制限（普通免許不可）への対応として、取得補助などの対策を工夫しながら進める。

アントラーズクラブハウス移転！潮来市と鹿行の未来を切り開くチャンス！

問 鹿嶋市への説明経緯は？令和8年4月の検討発表に至るまで意見交換を重ねた「関係者」とは誰か？

答 酒井企業立地戦略室長

令和4年から潮来IC周辺の活用等で意見交換を重ね、令和7年6月にクラブへ移転提案書を提出。翌7月に鹿嶋市役所を訪問し担当部署へ説明した。関係者については先方の了承を得ていないため答弁は控えさせていただく。

問 なぜ今、調査検討費用をかけるのか？調査内容の情報開示は？

答 酒井企業立地戦略室長

クラブ側との協議において、令和13年度完成を目標

に検討することを確認してきた。そのためには来年2月までに事業化の判断を行う必要がある。施設整備費等の高騰が懸念される中で、クラブ側から精度の高い調査を求められた。調査内容等については、議会（市民）へ可能な限り都度情報開示に努める。

問 過大な市負担を避けるリスク管理は徹底されているか？

答 酒井企業立地戦略室長

本市の財政状況を踏まえ、「身の丈に合った事業スキーム」を提案しリスク管理を徹底する。

問 ホームタウンやサポーターが応援できる形へ、市長の決意は？

答 原市長

潮来市だけが発展すればいいというものではない。鹿行5市が共通認識を持ち、アントラーズが世界に冠たるクラブとなるよう手を取り合うことが大切。できる限りの情報開示を行い、潮来市として一生懸命に進めていく。



学校統合に向けた「魅力ある教育環境」の構築と「共育社会」への転換について

子育て・教育環境の充実、

本市の魅力を高め若年層から選ばれるまちとなる可能性を秘めている。令和11年度中学校統合に向け、家庭や母親個人の努力に過度に依存する構造から脱却し、市の人的投資と地域資源を活用した「選ばれる教育」の実現について伺う。

問 部活動や放課後活動が保護者の送迎に依存している現状について、市はどのような課題認識を持っているか。



答 吉川教育部長

休日の部活動や放課後活動は徒歩や自転車による移動を基本としている。夏休み期間中の部活動には一定の課題があると認識しているものの、近隣自治体でも同様の運用であることから、送迎支援は考えていない。

再問 部活動や地域クラブ活動への参加に必要な送迎は、

「子どもの体験活動を支えるための移動手段」の問題である。特に中学校統合後は、これまで徒歩で通えた生徒でも夏休みの部活動等への参加が難しくなる可能性がある。本来に支援が不要なのかを判断するため、保護者や子どもたちのニーズ調査を行い、改めて支援の必要性を検討する考えはないか。

答 吉川教育部長

現時点では部活動への送迎支援を行う考えはないが、今後設置される統合準備委員会において、アンケートを含め

たニーズ調査を実施し、必要性について調査研究していく。

問 子育てを家庭だけで抱え込まず、地域全体で支える「共育社会」を、移住・定住や人口減少対策の柱として位置付ける考えはあるか。

答 村田市民福祉部長

潮来市ことも計画では、「子ども・若者がいきいき、わくわく・みんなでつくるふるさと潮来」を基本理念としている。地域全体で子育てを支える考え方は、「共育社会」の概念と共通する部分が多く、切れ目のない子育て支援を進めることで定住促進につながると考えている。

問 学校統合に伴う保健室利用の増加や教職員の負担増加について、市はどのように分析し課題認識を持っているのか。

答 吉川教育部長

保健室利用者数は、潮来小学校では統合前より減少し、

潮来第一中学校では微増となっている。現時点では、学校統合による利用増加があったとは判断できず、今後も推移を注視する。

教職員は、統合に伴うバス通学対応や児童生徒数の増加などにより、時間外勤務が前年より増加した。しかし、統合直後の一時的な要因が大きく、時間の経過とともに落ち着いていくものと認識している。

再問 統合直後に教職員の時間外勤務が増加したことを踏まえ、教員以外でも担える業務を整理し、市独自の人的配置を強化する考えはないか。

答 吉川教育部長

学校統合時には加配教員が配置される。今回の小中学校統合の経験を生かし、令和11年度の統合中学校開校時には、教職員の時間外勤務の軽減に努めていく。



防犯カメラについて

問 防犯カメラ設置補助金交付申請件数と設置数について伺う。

答 榊原総務部長
令和7年度の申請件数は2件、設置数は4基である。

再問 通学路上の横断歩道のある交差点や犯罪率の高い地域、多く子供たちが利用するコンビニ駐車場周辺に増やしていくべきと思うが如何か。

答 大川総務課長
主要幹線道路や駅等において市内16箇所に設置して



おり、さらに増やすかどうかは、今後、犯罪の状況を含め調査研究して参る。

問 近年、犯罪が絡む事例が生じていることから不特定者や不審者の掌握を強化する上で、学校の全ての出入口に増設しては如何か。

答 吉川教育部長
学校施設の安心・安全の確保という観点において、不審者対応や警察等への状況証拠の提出という意味で、犯罪対応や抑止力などの十分な効果があるものと考えている。

問 JR潮来駅、延方駅駐輪場において、盗難、いたずら、損壊の事例が生じており、犯罪防止と早期検挙に向けた取組みとして防犯カメラの設置が必要と考えるが如何か。

答 榊原総務部長
駐輪場だけを直接映している状況ではないが、両駅とも防犯カメラは設置している。

再問 駐輪場までを映し出す機能がないため、犯罪抑止に効果がある防犯カメラ設置を望むが如何か。

答 大川総務課長
今後の必要性を含め行方警察署とカメラだけでなく違う方法があるかどうかを含め、協議を図って参る。

有害鳥獣駆除支援策について

問 鳥獣被害防止施設整備促進事業補助金交付への申込者数の現在の状況について伺う。

答 篠塚環境経済部長
電気柵等の購入費に対して2分の1が対象となり、上限3万円の交付となる。
近年、イノシシ被害増加と

ともに申込が増えている現状から今年度予算を30万円（10件分）計上したが申込みは既に予算上限に達している。この状況から県に追加要望をし、内諾を得ているため諸手続が済み次第、希望者へ対応したい。

問 増加している有害鳥獣による農作物の被害が著しく拡大している一方、捕獲後の解体処理場が満たされていない。継続的に駆除から解体処理まで行う環境を整える必要があると申し上げたが、その後の進捗は如何か。

答 篠塚環境経済部長
設置場所の問題、建屋の問題など様々な課題があり、茨城県や周辺自治体並びに猟友会と連携を図りながら調査研究をしている。



家庭用廃食油の取り組みは！

問 他自治体の取り組みと市の見解を伺う。

答 篠塚環境経済部長

家庭用廃食油の回収ボックスの設置に当たっては、回収対象とする油の種類、容器の指定、油污れや臭気への対応、異物混入の防止、設置場所の管理、回収業者の確保、費用面など、整理すべき課題がある。本市で実施する場合には、市役所や公民館などの公共施設をはじめ、市民が利用しやすい施設での回収が考えられる。また、民間施設との連携も有効であると考えている。

今後は、近隣自治体や先進自治体の事例を参考にしながら、回収ボックスの設置場

所、管理体制、再資源化ルート、費用対効果などについて調査研究していく。

「過疎地域出産祝金補助事業」の導入を！

問 本市の見解を伺う。

答 村田市民福祉部長

出産祝金は、一時的な現金給付として子育て家庭の経済的負担を軽減できる一方、出生数の大きな増加や人口減少の抑制といった効果について、既に実施している自治体に確認したところ、人口増加などの目に見える効果は現れていないと伺った。

本市としては、まずは妊娠期から出産、乳幼児期、学齢期まで、切れ目なく子育て世帯を支える施策を充実させ、限られた財源を継続的な支援策に重点的に配分することで、子育て世帯の安心感につながるものと考えている。今回の県の補助事業は、今後要綱が示されることとなっているため、内容を確認し、他の自治体の取組状況やその効果について、今後も情報収集を行いつつ、より効果的な支援策を調査していく。

「5歳児健診」の早期導入を！

問 市の取り組みの見解を伺う。

答 村田市民福祉部長

国では、5歳児健診の実施について、令和10年度頃までの全市町村での実施を目指し、体制整備を推進している。本市としても、この国の方向性を踏まえ、国の制度設計や財政支援状況、先行自治体の取組における成果と課題、さらには本市の子供の実態などを総合的に勘案し、その上で本市の実情に適した実施形態や人員体制について調査研究を進めていく。5歳児健診は、子供の発達段階を的確に把握するだけでなく、健診後の継続的な支援体制や、保育所、幼稚園、小学校といった関係機関との連携なども、とても大事なことである。そのため、現在実施している1歳6か月児健診と3歳児健診、相談事業などとの整合性を整理しながら、本市における支援ニーズを的確に把握して、今後の実施に向けて調査研究を進めていく。

「母子免疫ワクチン」定期接種化の現状は！

問 取り組み状況と今後の課題を伺う。

答 村田市民福祉部長

令和8年4月から法律に基づき市町村が主体となって公費で実施する定期接種となり、潮来市でも今年4月から無料で接種できるよう体制を整えた。今年度の対象者数は170名を見込んでおり、このうち令和7年度の妊娠届出者で対象となる60名には、既に必要書類を送付した。4月からは、妊娠届出時に説明し、必要書類を渡している。課題としては、今年度から定期接種化されたことから、情報提供を継続的に行う必要があること、また、市内の妊婦の多くが市外医療機関で出産している実情も踏まえ、関係する医療機関や医師会と連携し、接種機会の確保と情報共有を図っていくことである。



旧津知小学校について

問 旧津知小学校インフラ移設工事の内訳内容と予定価格及び落札率を問う。

答 榊原総務部長

予定価格は税抜き2,414万5,000円で、落札率99.8%。内訳内容は公表していない。

再問 津知小跡地に保健所移転で土地の県への売却額が2,840万5,000円となっている。また、土地の測量費用がかかっている。土地を販売するための費用は4,000万円ほどかかっている。売る



金額に対してかかった金額がオーバーするような形で使われる。

このようになることは、保健所移転計画の中にあつたのか伺う。

答 河瀬企画政策課長

インフラ移設工事は保健所への土地売却のための工事ではなく、国の交付金採択を受け、財源獲得しながら取り組んでいる。

市民、市の財産である廃校舎を利活用していくためのものである。

問 50年経過している廃校舎の活用の具体的な計画があるのか伺う。

答 河瀬企画政策課長

昨年12月に市民ワークショップを行い、校舎を活用する前向きな意見を聞いている。今後もその中での意見を市民の声として利活用を進めていきたい。校舎の機能を維持するだけでなく、地区の方、市民の皆さん

が今までと同じように使えるよう、利活用に向けた事業に取り組んでいる。

統合後の潮来一中における校内トラブルについて

問 初期対応から通報に至るまでの経緯と異常事態の学校マニュアルで警察を呼ぶのはどのような状況か、また、保護者への報告、対応について伺う。

答 吉川教育部長

トラブルは4月30日に「ある生徒がちよっかいを出して相手を怒らせてしまった」ところが原因で発生し、5人の教職員が何度も離れるように注意したが収まらず、校内マニユアルに基づき、学校長の指示により、警察に通報したものの。校内マニユアルに即した部分では、生徒が興奮し暴れ、止めに入った職員の静止に従わず、他者へ暴行し、大けがをさせるおそれがあるた

鹿島アントラーズクラブハウス移転について

問 鹿嶋市を含むホームタウン5市との協議について伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

鹿嶋市には令和7年7月に訪問し、クラブハウス移転に関する提案内容について説明させていただいた。神栖市・鉾田市・行方市の3市については、移転検討を開始する段階で決定事項ではないことから、協議等の場は設けていない。

め、警察に通報した。保護者への報告は、校長とPTA会長による文書を発信している。

第1報 5月1日生徒同士のもめごとから警察に連絡

第2報 5月12日事実とは違う内容が広まり、不安解消のため

第3報 5月20日校内マニユアルの内警察への連絡に関する内容



潮来インター周辺開発について！

問 これまでの調査費用と今回の補正予算の内容を問う。

答 酒井企業立地戦略室長

これまで4年間で約5,100万円。今回の約2,500万円の補正は、鹿島アントラーズクラブハウス移転に向けた調査業務である。

再問 君津市ではロッテマリーンズファーム施設(15ha 事業費約250億円)と言われている。さらに道の駅いたこの再整備方針(検討開始する旨)も示された。類似事例から想定できる費用及び財源を問う。

答 酒井企業立地戦略室長

これまでの調査で事業費の算定は行っていない。今後の調査で道の駅いたこの再整備のあり方、財源の検討事項を明らかにしていく。

問 アントラーズクラブハウス移転検討に伴い、ホームタウン5市との連携方針を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

移転に向けた検討を開始する段階、ホームタウン5市との連携方針は定まっていない。

再問 昨年6月、鹿嶋市への提案説明を職員2名で行った点について、なぜ市長が自ら説明し、理解を求めなかったのか問う。

答 酒井企業立地戦略室長

新スタジアムやクラブハウスの取組みの経過と内容を承知している担当者に説明し、提案書を提出することで十分に伝わりと判断をした。

再々問 新聞によると鹿嶋市長の見解は「ボタンの掛け違い」。それにはトップ同士(市長)が話し合うことが大事だったと思っている。私は原市長の令和4年の新スタジアム誘致報道以来、再三にわたり「まずはホームタウン5市の連携と共通理解」と提案してきた。その見解を問う。

答 榊原総務部長

アントラーズが強く大きくなって行く未来に、本市のまちづくりと重ねて構想を進めていく。鹿嶋市から奪うつも

りはない。鹿嶋市とホームタウン市とのスクラムを組んで前に進めていく。

再問 一昨年、市長は「10年後、潮来市単独では住民サービスの維持は不可能」と言っている。まず鹿嶋市と関係改善図り、ホームタウン5市の連携の下で地域発展を願って提案する。優良農地の開発は莫大な費用と長い年月がかかる。そこで開発が容易(非農地・買収と埋立ての必要が無い)な現在の前川サッカー場に隣接する5ha、さらに令和15年に契約が終了する前川メガソーラー用地18haの活用を提案する。見解を問う。

答 榊原総務部長

参考とする。

若者世帯定住促進助成について

問 多くの自治体が継続している若者の住宅取得支援。建築費や銀行金利の上昇に対する支援を!!

答 濱野建設部長

これまで住宅取得助成は一定の効果があったと認識している。しかしながら国の財源補助が年々減少するなど、厳

しい財政事情から令和7年度に終了とした。

再問 2023年9月議会において市長は「国の補助制度が廃止になっても、財源を見つけて市として継続する考えだ。」と答えている。再度答弁を求める。

答 原市長

財政負担が大きいため終了する。新たな財源を見つけて違う形で定住促進事業を進めたい。

再々問 国の補助金はずっと継続するものはほとんどない。その後の市の施策の水準を保つために地方交付税がある。物価高騰対策金も充てられる。国の補助金がある時だけの施策では不公平になる。再度問う。

答 原市長

物価高騰対策で住宅取得支援の場合は、対象が限られてくる。そのため、広く薄く多くの市民に水道料金減免や商品券を配布している。



英語に特化して子ども達が英語を話せる街づくりを！

問 フィリピンは最初から英語で思考し、各トレーニングを徹底している。社会全体の仕組みが学校での英語取得を後押ししている。小さいときから英語に触れる重要性はフィリピンの状況で良く分かれる。ALTをまなびルームや学童などに活動を広げては？

答 永山学校教育課長

ALTとしての活動の契約の時間外になる。この後、調査させていたきたい。ただ、まなびルームは、月曜日の夕方中央公民館で開催しているが、自分の課題を持ち寄り一人で学習するというスタイルとなっている。ALTから教わることとなる。



ると会話が中心になるのですみわけが必要となる。

問 潮来市は人エ芝コートが2面、天然芝コート1面ある。また今、クラブハウスの誘致をして市がサッカーに特化している事は分かりやすい。クラブハウスの誘致ができれば、プロ選手が練習する横でアカデミーの子ども達が練習する。サッカー好きの保護者や子供なら絶対住みたくなる。また練習を見に来る人で潮来駅や延方駅の周辺は活性化する。移住・定住に一番つながるのは分かりやすく特化していること。英語もサッカーと同じよう特化していれば魅力的に感じる。市もフィリピンのように思い切って、シフトしては？

答 埴教育長

フィリピンのような英語教育のモデルを参考にするというのは、グローバル化が進んでいる現代社会においては、次世代を担う子供たちの将来の選択肢を広げると、そういったところの基礎的なものとして大事な視点であると思っております。英語教育の強化が潮来の教

育の売りになっていければと考えている。

市の子ども達が国際社会で活躍していくことができるような学習環境を提供できるような取り組みをしていきたい。

タクシーチケットを
使用出来ない方に別の
支援策を！

問 チケットを利用できないと分かっている方に、タクシーチケットの代わりの支援をしては？

答 村田市民福祉部長

タクシーチケットは外出支援及び社会参加を促進し福祉の増進を図るが目的。タクシー券の利用が困難な方は、お一人お一人の心身の状況に合った必要な支援や介護サービスをご案内する。

問 移住定住にもつながるまちづくりは、ありがたいと思う事の積み重ね。行方市は定額タクシーの実証運行している。使いやすさ、利用率の面では圧倒的に定額タクシーの方が便利。定額タクシーを行方市と広域で連携し実証運行しては？

答 河瀬企画政策課長

利便性の向上は非常に重要。開始して間もない行方市の制度につきましては、今後の利用や効果などの情報の部分を確認し他市の先進事例も研究していく。

古着はごみではない。
洋服のリサイクルボックスについて

問 市はおもちゃのリサイクルはしてないが民間事業者による資源循環サービスであれば、おもちゃも洋服も回収してくれる。また無料の宅配による資源循環サービスがあり、LINE登録すれば、自宅に段ボールが送られてきて洋服を詰めて送り返すことができる。

答 松崎環境課長

着られる洋服を潮来市はどこへ持っていけばいいのか？
社会福祉大会のバザーの品物として福祉協議会で募集をかけて、皆様からの寄附があった。現在、令和5年度以降、品物等が、数が確保できているので募集はかけていない。



J1鹿島アントラーズ
クラブハウスの潮来への
移転について

問 潮来市は、鹿島アントラーズクラブハウスの誘致を自ら整備することを前提に提案し、鹿嶋市の反発を招いたと報道された。

鹿嶋市の反発は予想できなかったのか。

答 酒井企業立地戦略室長

アントラーズに提案書を提出後、鹿嶋市に内容説明を行った。鹿嶋市からの意見交換の申入れなどはなかったもので、これまでの経過も含めてご理解いただけたものと受けとめた。

問 君津市では千葉ロッテマリーンズの2軍の移設が決まった。市の予算の見込みは150億が250億円に膨ら

んだとして君津市議会は紛糾している。君津市は350億円の一般会計予算を持つ。潮来市の予算はいくらか。

答 酒井企業立地戦略室長

一般会計の歳入は約137億円になる。

問 クラブハウス移転の財源はどこにあるのか。

答 酒井企業立地戦略室長

今後の調査業務において整備費等を精査する。

再問 クラブハウスには維持管理だけでも年間億単位の莫大な費用がかかる。クラブの拠点は鹿嶋市に据え置かれる。税収も得られないまま、建設費や維持管理費を支出して潮来市は何を得られるのか。

答 酒井企業立地戦略室長

ファンやサポーター及び観光客による周辺施設や飲食店、宿泊施設の利用増といった地域全体に大きな経済波及効果が期待される。

再々問 バスターミナル周辺の14haにクラブハウスを移転する場合、どのような施設を作るのか。

答 酒井企業立地戦略室長
管理棟、天然芝のサッカーコートなどの整備を想定している。

問 鹿嶋のクラブハウスは30年前の当時でも19億円だった。さらに、バスターミナル付近は防災マップ上の浸水想定区域なので、最大3メートルの盛土をする必要がある。盛土にかかる費用は14haなら24億円程度かかる。5億円だった前川運動公園のサッカー場を基準にすればグラウンド7面で35億円かかる。概算で6億〜100億かかる。自分の財源に事業をやるだけの財力があるのかはコンサルを頼まなくても判断してほしい。鹿嶋市は現スタジアム周辺にクラブハウスを移転したいという意向を示していることもある。財源から始まり鹿嶋市との交渉、そして鹿島アントラーズとの交渉という手順を踏んで進めてほしい。それだけの税金をかけ、何が得られるのか。

答 酒井企業立地戦略室長

経済波及効果を得られる。数値化は今後の課題とする。

中学校統合について

問 今年の4月に牛堀中と一中は統合した。理由は①校舎の老朽化、②クラス替え(できるほどの人数)、③部活動ができない、だった。しかし3年後、さらに二中に再統合されるという話になっている。一中校舎は新しいし、クラス替えもできる。牛堀中の時のような理由は存在しない。今の統計でいけばクラスが1つになるのは3年後ではなく7年後。急いで統合する理由がない。計画を見直し、最低でも一中と二中の二校体制にするべきではないか。

答 吉川教育部長

3年後の令和11年4月に潮来第二中学校を校地として一校化することも、児童・生徒数の減少への対応や児童・生徒へよりよい教育環境や学習環境等を確保していくためには必要。教室等の一部については改修の必要があるが、学校施設全体としては十分に余裕がある環境となると考えている。



潮来クリーンセンターの今後について

問 潮来クリーンセンターの長期修繕計画（10年間）の最終年であり、今年8月に今後の方向性を示すということであるがその進捗を伺う。

答 篠塚環境経済部長

先日の全員協議会にて、近隣3施設（行方市、鹿島地方事務組合、香取広域市町村圏事務組合）の概要について説明させて頂いた。各施設、メリット、デメリットがあるが搬入距離などを含め潮来市との相性もある。執行部としても議員の皆様と同じ方向性で進んでいきたいと考えている。ご意見等を頂き、今後どの施設と広域連携に向けて進めていくのか助言をいただければと思っている。



再問 潮来市では令和7年2月に火災が発生して、概算修理金額が8億6,900万円。

修理はしないという方向性が示された。そういった中で3施設が候補に挙がっているが、各々首長間でこの枠組みの協議をされたのか伺う。

答 篠塚環境経済部長

現時点ではまだ事務局レベルであって、その先までは進んでいないという現状である。

再々問 行方市の施設は潮来よりも9年新しい。行方市は約15億円かけて大規模修繕が行われその耐用年数はこれから10年間。行方市も急激な人口減少から、今後1市で処理場を運営していくのは大変なことである。

破談してしまったが当初の広域枠組み（行方、潮来、銚田）では様々な議論がなされ理解し合いながら検討してきたことと思う。まず最優先されるのは行方市であると考えられるが市の見解を伺う。

答 篠塚環境経済部長

繰り返し返しの答弁となるが、潮来市と最も相性のいいところと広域連携をしていきたいと考えている。

日の出の出入り口、ライスセンター前の道路拡幅について

問 日の出2丁目・3丁目の交差点で、ライスセンターの方へ向かっていく道路であるが歩道整備を含めた道路拡幅の考えはあるか伺う。

答 濱野建設部長

この道路は朝夕を中心に一定の交通量があることや、近隣高校へ通学する生徒の自転車利用があることも承知しており、通学生徒の安全確保が重要な課題と認識はしている。一方で、小・中学校の通学路には位置づけされていないことや、一定の幅員が確保されていることから、現在、歩道整備を含めた道路拡幅の具体的な計画はない。しかしながら、車両や自転車が少ないながらも安全に通ることができるよう今後も交通状況や地域からのご意見を注視しながら、必要に応じて、現地状況に見合った対策について調査研究していく。

再問 日の出地区は特に住宅地として今後も期待されるが、防災ハザードマップ上、浸水想定エリアになっている。このライスセンターの前の道路は直近の高台で前川運動公園、その先は潮来高校の方へ向かって行くルートになる。日の出地区は避難経路が示されておらずこれからの課題といえるが、防災の観点から市の考え方を伺う。

答 大川総務課長

車での避難をする場合を考えた上では道路は非常に重要であると認識している。

再々問 今後、中学校統合を控えている。自転車通学路を検討していかなければならないが、通学路の観点から市の考えを伺う。

答 濱野建設部長

市全体的な整備計画の中では、現時点では優先度が高い路線とは判断はしていない。必要性については、今後の交通状況や利用実態を注視しながら判断する。



委員会審査

6月15・16日の委員会での結果を議会最終日に各委員長が報告しました

6/15 総務建設委員会

付託された案件

承認2件、補正予算1件、その他1件

主な質疑

旧津知小学校用地の売買契約について

問 売却価格の算出根拠と撤去費用の扱いはどのようなになっているのか。

答 不動産評価額は計2,870万5千円である。そこから遊具や倉庫等の撤去費用（県見積り）576万8千円を差し引いた額が、本市への歳入となる。

再問 旧校舎等の遊具は再利用できないのか。

答 庁内関係各課および地域コミュニティスクールへ意向確認し、撤去としている。設置から15年以上が経過し、安全性等の担保が困難なため、再利用は不可と判断した。

令和8年度潮来市一般会計補正予算(第1号)
〔所管科目〕

問 調査委託費2,542万7千円の使途と調査対象範囲はどこまでか。

答 主な調査項目は①施設整備計画検討、②概算整備費算出、③事業スキーム検討比較、④事業スケジュール検討、⑤民間ヒアリングの5点である。また、今回の調査対象地は、基本構想に位置づけられた「スポーツにぎわいゾーン(14ha)」に限定される。

討論 — 賛成・反対の意見 —

【反対討論】

対象地は優良農地であり、短期間での整備や埋立てなど多額の費用が見込まれる。前川運動公園や道の駅裏のソーラー契約終了後の土地も調査対象に含めるべきと提案をしている。調査の対象外であるため反対する。

【賛成討論】

農地以外の活用について検討の余地はあるものの、土地所有者への説明会を経て計画が積み上げられてきた経緯があり、地権者からも概ね前向きな意向が示されていることから、提案された対象地での事業検討に賛成する。

⇒原案可決（賛成6人 反対1人）

6/16 教育福祉経済委員会

付託された案件

条例制定1件、条例改正3件

主な質疑

潮来市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

問 本改正による保育現場への影響はどの程度あるか。

答 現在、市内に本改正の該当施設はないため、保育現場への具体的な影響はない。

所管に関する質問

問 中学校統合の方針と「財源」「合意形成」の考え方について伺う。

答 財政課と協議を重ねた上で、段階的な統合を進める方針である。合意形成については、学識経験者等による検討を経て計画を策定し、パブリックコメントにより市民の意見を聴取している。

再問 教室不足を補うための「新世代学習空間」の扱いは妥当か。

答 現在は3分割ではなく2分割の教室として活用する計画である。教室を普通教室に転用しても、各教室で柔軟な教育環境は確保可能と考える。今後は1階の広場空間等の改修も検討し、魅力的な学習環境を整備していく。

問 少子化に伴う今後の認定こども園のあり方について伺う。

答 公立・私立の各園と定員調整を図りながら進めていく。方針については、施設長会議等で近隣状況や国・県の制度情報を共有していく。

問 あやめ園の品種管理と株分け後の表示について伺う。

答 品種が複雑化している現状があるが、判別可能な品種については適切に管理し、来園者が愛着を持てるよう名称等の表示に努めたい。

議員活動

こんな活動もしています！

有害鳥獣対策活動

- 場 所 潮来市内全域
- 実 施 日 年間を通して活動
- 内 容 潮来市ではイノシシによる農作物被害や生活圏への出没が深刻化しています。この課題に対し、潮来市議会議員有志は、現場での解決に貢献すべく、昨年「狩猟免許」を取得し、潮来市猟友会に加入しました。現在、イノシシの捕獲活動をはじめとする有害鳥獣対策を現場で実施中です。この度、活動の一環として、約30キロのイノシシを捕獲することに成功しました。市民の皆様が安心して暮らせる潮来市を目指して、安全で豊かなまちづくりへ、これからも積極的に取り組んでまいります。



ゲートパーク花植え

- 場 所 潮来IC付近ゲートパーク
- 実 施 日 令和8年6月12日（金）～13日（土）
- 内 容 観光客の皆様を気持ちよくお迎えするため、季節の草花「ポーチュラカ・ドワーフイエロー」の植栽作業を実施しました。鮮やかな花々は、潮来の風景をより一層引き立ててくれます。美しい景観づくりは、観光振興の第一歩です。今後も、歩きたくなるまち・訪れたい潮来を目指し、地域活動に積極的に参加してまいります。お近くにお越しの際は、ぜひ足元の花々にもご注目ください。



水郷潮来シティレガッタ

- 場 所 潮来ローイングコース（潮来市立ローイングセンターあめんぼ）
- 実 施 日 令和8年6月21日（日）
- 内 容 水郷潮来シティレガッタ大会に参加しました。当日は議会から2チームが出場し、市民の皆様と一体となって大会を盛り上げました。レースではチーム一丸となって全力で挑み、スポーツを通じた交流の素晴らしさを体感することができました。このような地域のイベントに積極的に関わることで、皆様とのつながりを大切にしていきたいと考えています。





潮来市議会だより「みらい」No.203
発行日：令和8年7月23日

■発行責任者：議会議長 飯田 幸弘 ■〒311-2493 茨城県潮来市社626 ■gikai@city.itako.lg.jp
■編集者：広報編集委員会 ■TEL 0299-63-1111 ■FAX 0299-77-9823

UD FONT

市議会HP

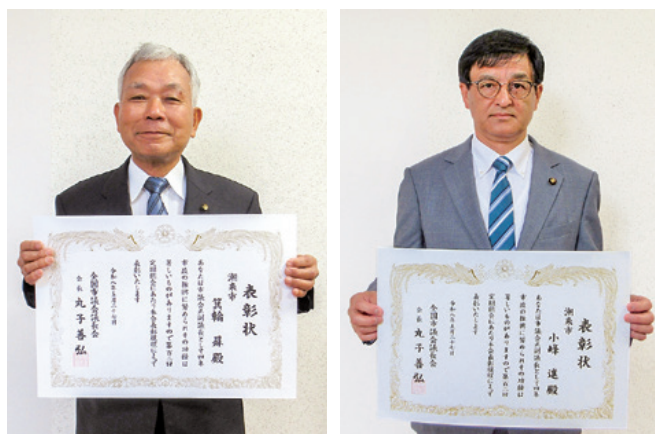


功労者表彰

この度、多年にわたり市政の振興に寄与した功績が認められ、本市議会議員の皆様が全国市議会議長会および茨城県市議会議長会より表彰されました。長年にわたるご功績を称え、謹んでお祝い申し上げます。



▲全国市議会議長会からの表彰【議員10年】



▲全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会【正副議長4年】

受賞者一覧

◆全国市議会議長会表彰

【正副議長4年】

箕輪 昇 議員、小峰 進 議員

【議員10年】

飯田 幸弘 議長、兼平 直紀 副議長
箕輪 昇 議員、飯島 康弘 議員
小峰 進 議員、阿部 慶介 議員

◆茨城県市議会議長会表彰

【正副議長4年】

箕輪 昇 議員、小峰 進 議員

表紙の説明

あやめこども園（ろ舟乗船体験）

今回の表紙は、ろ舟に乗って楽しんでいるあやめこども園の園児たちです。船頭さんが操るろ舟に揺られ、水面を間近に感じながら景色を眺める子どもたちの瞳は、新しい発見に輝いていました。地域の伝統に触れ、豊かな自然の中で育まれる子どもたちの姿は、潮来市の希望そのものです。忙しい日々の中で、ふと足を止めて眺めたくくなるような、水郷潮来らしい穏やかな風景を皆さまにお届けします。

議会広報 編集委員会

委員長		副委員長		委員	
石田 裕二	和田 直子	吉川 利一	兼平 直紀	平田 健二	小沼 英明

編集後記……

あやめの季節が過ぎ、本格的な夏がやってきます。今年のあやめまつりは花の咲き具合にも恵まれ、多くの来場者の皆さまにお楽しみいただきました。

さて、今号は新しい編集委員会となって2号目です。今期は経験豊富な委員が揃い、編集の進め方はもちろん、「議会だより」は誰のために、何を伝えるものなのか」を改めて考える機会にも恵まれ、私自身も日々学びを深めています。

今回は、委員会での議論や本会議での討論など、議会で交わされた議論が少しでも伝わるよう、編集委員一同で工夫を重ねました。

これからも学ばず姿勢を忘れず、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、分かりやすい議会だよりづくりに努めてまいります。

広報編集委員長 和田 直子